



NO.5
令和3年度
川越市立
川越第一
中学校
学校通信部
責任編集

一学期・終業式

成長する夏休みに

本日、第一学期・終業式を迎えました。特に梅雨明け後、今週3日間は、連日35度に迫る猛暑の中で、の学校生活でした。一学期は、71日間ありましたが、生徒は、新たな学年としての自覚を胸に、授業、係・委員会、部活動等、多様な場で自らを磨き、力を付けてきました。本日の終業式を一つの節目として、明日から始まる夏休みでは「昨日よりも一歩進む」ように、日々成長する夏休みであるように願っています。

本号では、本日の終業式にて各学年の代表の生徒が、「一学期を振り返って」と題して、全校生徒に発表をいたしましたので紹介いたします。

第1学年代表



明るい春の日差しがさす四月八日に、私たちは入学式を迎えました。着慣れない制服に袖を通して初めて教室に入った時は、緊張でワクワクした気持ちになったのを今でも覚えています。しかし、入学式で一人一人の名前が呼ばれて返事をした瞬間、漠然とした中学生というイメージが、現実的なものとなり身も心も引き締まる思いがしました。

◆中学校生活は、小学校とは大きく異なり、その変化に不安と楽しみな気持ちがありました。小学校

乗り越えていきたいです。◆委員会活動も中学生になると人から言われて仕事をやるのではなく、自分たちの手で自分たちの学校生活をより良くしていくために話し合いをしていくということを強く感じられました。◆また、教科ごとに担当の先生が替わることも中学生になって初めてのことでした。最初は慣れない感じもありましたが、今ではすっかり日常的なものとなりました。7月には、期末テストがありました。初めてのテストで、どのようかな形式なのか、どのくらい量なのか、テストを受けるまで不安でしたが、どのようなものなのか、どのよう把握することができました。

◆そして、私が特に印象に残っているのは校外学習です。クラスの半分以上が他の小学校出身ということもあり、全く話したことのない人も多い中で、入学してから一週間で臨んだ校外学習でした。行く前はとても緊張していましたが、しかし、いった後はみんなとの緊張がほぐれ、帰りのバスでは会話が増えていきました。◆アスレチックは難易度が高くて、きつと辛いことですが、協力しなければクリアできない場面があり、

生との違いを大きく感じたことの一つに、部活動があります。部活動は、私たちが楽しみにしていたことの一つでもありますが、小学校のクラブとは違い、同じ目標に向かってみんなで一緒に活動するという点で、部活動は中学校生活をより充実したものにすると思います。私自身も、自分に合う部活を探すためにいくつかの部活動体験をしました。先輩達ほどでも親切で丁寧に教えてくれて、先輩の存在にそこがこれを感じました。部活動を続けていけば楽しいことだけでなく、きつと辛いことや悲しいこともあると思いますが、部活動を通してできた大切な仲間と共に

みんなで助け合いながら挑戦することができました。この体験から、一人では不可能なこともみんなで団結すれば可能になるという実感を持てました。みんなが壁を乗り越えた時に生まれた絆は今でも覚えています。◆思い返してみると、昨年は新型コロナウイルスの影響により、6月に入ってから初登校だったので、一学期はほとんど学校がありませんでした。それに比べて今年は、校外学習から始まりとても充実した中学校生活を送れ、あつという間に終業式を迎えました。改めて友達や先生方に囲まれての毎日は、決して当たり前のことではなく、ありがたいうことだと実感することができました。◆そして、2学期では体育祭や合唱祭など大きな行事があります。一学期に芽生えた絆をより一層大きくし、心を一つにして力を発揮したいと思えます。行事を乗り越えることにみんなと想いを共有し、またその経験を自分自身の成長や自信に結びつけ、学年全体を良い雰囲気にしていきたいと思えます。

◆今年度は

第2学年代表



皆さん、おはようございます。二学年を代表して、一学期の振り返りと今後の課題を述べさせていただきます。◆今年度は



は、中学生としての同じ一年間ではあっても、初めて四月からのスタートとなり、昨年度とはまた違った一年間が始まりました。◆私達が特に意識したのは「中堅学年」という言葉です。一年生の頃に比べて、一人ひとりの意識が高まり、自分だけだけでなく、「クラス・学年・学校」のことで考えられる人が増えました。また、後輩もでき、自ら前に立ち集団をまとめていく機会が増えたため、先輩としての姿を意識できるようにになりました。◆そのような「中堅学年」としての立場を特に感じた場面が部活動と委員会活動でした。◆まず部活動については、私自身はクラブチームでサッカーをしています。仲間と協力し、練習を積み重ね、良い部活を作り上げていく姿勢が多く仲間間にあったように思います。◆後輩が出来たため、そのお手本となる行動を取ろうとしたり、支えてあげようとしたりする意識が表れてきました。◆学総体では、三年生の先輩達が、最後の瞬間まであきらめずに試合に向かって姿勢を見せてくれました。先輩達がその背中で語ってくれたたっくさんのものがありました。だから

らこそ、今度は自分達が三年生のように後輩を引っ張っていきたいという思いを強く持ったのだと思います。部活で奮闘する仲間を見て私はそのように感じています。◆次に委員会活動についてです。一人ひとりが「学校をより良くしよう」とする意識を持ちながら活動することができました。副委員長という立場になった人も多くいます。委員会を通して、良かった点や反省点、課題点などを集約しながら、自分達が学校のためにどのような行動をしなければならぬのかを考えることができた。◆しかし、私達の学年にはまだ十分に出来ないこととあります。それは「支えあい」です。特に学習の場面で多く感じました。今年から新たな学習教材を使った、仲間との学び合い、とても楽しく、充実したものでした。しかし、残念ながら、間違った使い方や判断をしてしまった事もありました。◆ですが、そのような場面でもお互いを支えあうような学年でいたい、また、間違ってしまった時には声をかけあい、ともにまた歩み出せる仲間でありたい。◆そう思います。様々な場面で「支えあい」を大切にしていきたいと思います。◆そのために必要なのは互いを理解し合うことだと私は思います。◆二学期には体育祭や合唱祭、校外学習などの大きな行事があります。体育祭や合唱祭では一人一人が協力し、支えあいの気持ちを大切にしながら、クラスの絆を深め、クラスよさを発揮していきたいです。また、後輩には「カッコいい先輩」、三年生には「この二年生なら任せられる」と思ってもらえるような存在になれるよう頑張りたいです。◆校外学習では自分達の力で作り上げ、自分達でより良い学びの経験を得られるようにしていきたいです。そして、これらの行事を成功させるためにも、やはり二年生の課題である「支えあい」を一人一人が大切にしていきたいと思います。◆私達の学年にはスローガンがあります。「New Year」です。このスローガンには、一人もかけず、全員がこの青学年をより良いものにしよう、といった意味が込められています。この言葉を大切に、一人ひとりがそれぞれに輝き、一人ひとりが互いに理解し支えあいながら、みんなが温かく笑いあえるような学年にしていきます。◆そのために、まずはそれぞれの夏休みを、そしてこれからの日々を大切に過ごしていきたいです。



第3学年代表

皆さん、おはようございます。一学期の終業式にあたり、学年を代表して、振り返りをしたいと思います。◆「中の顔」や、「最高学年」そして、「受験生」という名を背負っての生活がスタートして四月月。三年生としての自覚を持って学校生活を送れたでしょうか。はじめに、一学期を振り返ると、代表の〇〇さんが「一中スタンダードを呼吸するかのよう」に自然に行う必要がある。と言っていました。◆しかし、最近の三年生は「語先後礼」や「洗心無言清掃」の徹底が十分ではないように感じます。最高学年である私たちは一中の大黒柱です。その私たちが一・二年生の見本とならなくてはなりません。一中スタンダードはこの学校の伝統です。私たちは一中スタンダードを最高の形で継承していく使命があります。大黒柱としての役割を果たすためにも、一学期には、「呼吸をするかのように自然に行う一中スタンダード」を全員が出来るよう心がけていきましょう。◆次に、私が皆さんに伝えたいことは、「時間を大切にすること」です。この一学期があっという間に過ぎていってしまったように感じている人も多いと思います。私たちが三年生は、昨年新型コロナウイルスの感染拡大により部活ができない日々が続きました。制限があ

る中で部活動再開ではありましたが、再開したときは、部活ができる喜びを改めて実感し、より一層がんばることができました。◆「前の顔」も思っていたことが当たり前にない、というところを知った私たちなら、時間を大切にすることが出来るはず。◆これから私たちが、進路実現に向けて、忙しい毎日を送ることにあります。おそろく残りの二・三学期もすぐに過ぎ去り、気づいた頃には卒業を迎えてしまいます。中学校生活というかけがえのない時間を有意義に過ごすためにも、日々の生活を大切にしていきたい。◆さらに、私たちは今後受験という人生のターニングポイントを迎えます。「夏を制するものは受験を制す」という言葉があります。およそ40日間にもわたるこの夏休みは、受験に向けて大きな飛躍を遂げるためのチャンスです。この



期間を、目標を設定して過ごすのと、目指す物無く過ごすのでは大きな差が生まれてくるのではないのでしょうか。◆皆さんにも経験があるとおり、定期テストでも目標を設定し、取り組んだときの方が良い結果が出たと思えます。◆このような経験を生かして、進路実現に向けて、この夏も目標を立てて取り組んでいきましょう。

◆二学期には、一中の大きな行事である「体育祭」と「合唱祭」があります。これらの行事をより良いものにするためには、一人一人の成長が欠かせません。一中スタンダードを徹底して行えること。長い夏休みを充実したものにしてください。これらの小さな成長が集まると、大きな力を発揮できると思います。一中の行事をより良いものにして作り上げるために、私たちの進路希望を叶えるために、一人一人が日々の生活を意識して、充実した夏休みを過ごしていきたいでしょう。

交通安全教室

7月13日(火)の午前中、川越警察交通指導課の〇〇〇〇様に御来校いただき、各学年毎に交通安全教室を実施しました。◆この教室は、自転車の安全な乗り方に焦点を当て、夏休み中の交通安全を、そして、本校体育祭が川越市陸上競技場で開催されることから、自転車による往復時の交通安全を一層徹底することをねらいとして実施しました。◆当日は、実際に起きた自転車事故をもとに作製されたDVD教材を視聴するとともに、自転車事故の被害者、加害者どちらにもならないよう「止まって、安全確認をする」等、貴重なお話をいただきました。◆実際に安全確認を怠り、出会い頭の事故が大変多いそうです。9月10日(金)に予定さ

れている本校体育祭では、各ご家庭から陸上競技場までを、多くの生徒が自転車で行われます。(保護者の方による送迎、バスによる往復の生徒もおります)体育祭への期待感、また、終わっての開放感から一時停止を怠ったり、仲間と並列で走ったり等、危険な乗り方になりやすいよう、学校でも継続的に指導してまいります。ぜひご家庭におかだきますようよろしくお願いいたします。

性感染症 予防講座

7月9日(金)に、第3学年の生徒を対象とした性感染症予防講座を行いました。本講座では、埼玉医科大学産婦人科の〇〇〇〇先生に御来校い

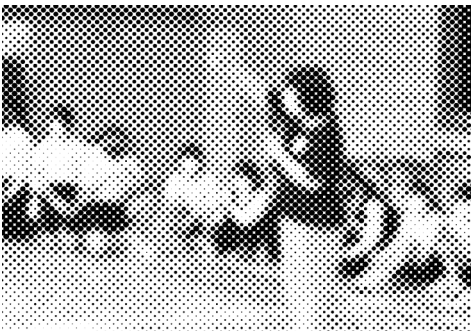


ただき、御指導いただき「こどもたちに正しい性の知識を」と年會120回以上各地で講演を行っていただきます。著書「サッコ先生と!からだこころ研究所」を川越市内小中学校に寄贈してください。本校でも図書室に置いてあります。◆当日の内容は、性感染症とその予防だけでなく、思春期の心身の変化、男女の心身の違い、好きな人との交際、性交、妊娠、避妊、人工妊娠中絶、性の多様性、困ったときの相談場所やインターネットサイトの紹介もしていただきました。◆「性感染症は無症状のことが多く、そのため、知らないうちにパートナーや性的な関係を持った人たちがうつっていく」ということは、中学生にはイメージしにくいのですが、無色透明の薬品が入った水を使って生徒と一緒に実験(シミュレーション)で示してください。理解しやすくなったようです。◆生徒の感想では、〇性感染症は怖いというだけでなく、知識を身に付けることができた。〇自分の体は自分で守り、パートナーや周り

サマーリフレッシュ ウイーク

埼玉県教育委員会では、平成29年度より、公立小・中学校において「サマーリフレッシュウィーク」を設定し、学校は閉庁となります。今年度は、8月11日(水)～8月16日(月)までの期間となります。学校には教職員は不在となりますので、緊急時には、次の連絡先までお願いいたします。

- 川越市教育委員会 224-5139
- 川越市役所 224-18811



の人も大切にできる大人になりたい、など講座の内容をしっかりと受け止めた人が多くいました。◆保護者の方も5名参加してください。〇これから必要なことをわかりやすく教えてくださる〇性について家族と話すきっかけになったといった感想を寄せていただきました。

感染拡大防止

明日から夏休みに入りますが、新型コロナウイルス感染拡大予防につきまして、引き続きご家庭のご協力をお願いいたします。◆なお、夏休みのしおりの中にございます、「夏季休業中健康観察記録用紙」の、日々の検温、体調等の記録につきましては、学校でも指導してまいりますので、ご家庭におきましても併せてご指導よろしくお願いたします。◆また、次の場合は学校へ連絡をお願いします。

- 生徒本人がPCR検査を受けた場合
- 生徒本人が新型コロナウイルス感染症の陽性者となった場合
- 生徒本人が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者となった場合

(★上記のサマーリフレッシュウィーク中は、上記の川越市教育委員会、川越市役所へお願いします。)

帽子・日傘の利用

梅雨が明け、猛暑日が続いております。本校では7月～9月までの登下校、学校生活は暑さ対策として体育着可となっております。また、登下校等の帽子の着用、日傘の利用も可となっております。特に夏季休業中、部活動の登下校の際、必要に応じて利用してください。